

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
TOEIC ワークショップ II TOEIC Workshop II		2年	前期	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	選択	特になし	
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
TOEIC ワークショップ I				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
特になし。				
担当者に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス	
David Bradley	なし	なし	授業中に指示します	
授業の概要 教科書に沿って、TOEICテストにできるリスニングとリーディングの問題と取り組む為のスキルの習得を行う。				
授業の目標 このコースの目標は、 ①TOEICテストのスコアアップができるようにする。 ②英語によるコミュニケーション能力を築き上げることができるようにする。 ③総合的な英語運用能力を向上できるようにする。				
授業の方法 教科書の各ユニットは、リスニングとリーディングそれぞれの項目に設定されている。テーマに沿った重要フレーズの習得、文法事項の再確認、そしてフレーズリーディングなどの長文読解に必要なスキルの習得を行う。				
学習の成果（学習成果） この授業を終了すると、あなたは、 ①TOEICテストのスコアアップを達成できる。 ②総合的な英語コミュニケーションの能力を上げることができる。 ③今後の勉強の為にTOEICに対する対策を講じることができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	Introduction to the course			
第2回目	Pre-test			
第3回目	Unit 1 提案 — 時制 1			
第4回目	Unit 2 確認 — 時制 2			
第5回目	Unit 3 会話を始める — 助動詞			
第6回目	Unit 4 ニュース報道 — フレーズリーディング			

第7回目	Unit 5 義務 — 代名詞	
第8回目	Unit 6 理由 — 前置詞	
第9回目	Unit 7 苦情 — 接続詞	
第10回目	Unit 8 お知らせ — スキャニング	
第11回目	Unit 9 Yes/Noで答える質問 — 関係詞	
第12回目	Unit 10 意見 — 分詞構文	
第13回目	Unit 11 意見の一致・不一致 — 仮定法	
第14回目	Post-test	
第15回目	Feedback and guidance for taking TOEIC in the future	
成績評価の方法と基準		
	評価の領域	割合
授業参加態度	50%	このコースの目標はTOEICテストのスコアアップなので、学生のそれぞれの向上心に対する努力を評価する。
レポート		
調査報告書		
小テスト	25%	試験と合わせて評価する。
試験	25%	小テストと合わせて評価する。
発表内容（態度含む）		
その他		
教科書と参考図書		
The TOEIC Test Trainer Target 650 by M. Yamaguchi, H. Matsuura, M. H. Maesaka and G. W. Pifer, published by Thomson. ISBN: 978-4-902902-85-3		
履修上の留意点・ルール		
実技の授業なので、毎回出席して、積極的に参加することが重要である。		